



LIBRARY

いわき総合高校図書委員会 平成30年11月号

今月のオススメ📖

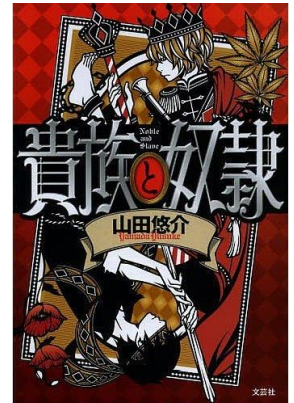


◀ 貴族と奴隷 ▶ 著者：山田 悠介

「貴族の命令は絶対！」

盲目の少年・伸也は、共に拉致された中学生たちと30人、この世の地獄に放り込まれた。「貴族」と「奴隷」に分けられ、劣悪な環境での強制労働。つきまとう死の恐怖。異常な環境で、少年たちの感覚は麻痺し、大切な友人までが壊れていく。伸也は誰よりも過酷な扱いを受けても、優しさを失わなかったが、ついに……。

この本は、人間1人がいかに正義を語ろうとも、どんなに個としてよき人物であろうと努力しても、リアルな世界は残酷だということを余すことなく表現している本です。物語に登場する人物たちの行動や心理描写は、とてもリアルで監獄実験という日常ではあり得ないような世界を実際に体験しているかのようです。とても面白い本なのでぜひ1度読んでみてください！ (MA)



活字嫌いの人へオススメ (図書アンケート結果を受けて)

📖 文豪(短編)小説

- ⇒ 芥川 龍之介 『鼻』 『芋粥』 注：芥川の『鼻』は師匠の漱石から大絶賛された作品です。
- 夏目 漱石 『坊ちゃん』
- 森 鷗外 『高瀬舟』

📖 読みやすい(短い)小説

- ⇒ 星 新一 『ノックの音』 『エヌ氏の遊園地』 『ポッコちゃん』 注：数ページで物語が完結。

📖 恋愛小説のオススメ

- ⇒ 住野 よる 『君の臍臓を食べたい』 『青くて痛くて脆い』
- 七月 隆文 『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』
- 森見 登美彦 『夜は短し 歩けよ乙女』
- 市川 拓司 『恋愛写真 もうひとつの物語』
- 島本 理生 『ナラタージュ』



📖 高校生へオススメ

- ⇒ 林 真理子 『野心のすすめ』 注：5年前に話題になった本です。ホリエモンも絶賛！
- 山田 詠美 『ぼくは勉強ができない』 注：タイトルを見ただけで食指が動きませんか？
「ビリギャル」著者の坪田信貴さんオススメ。

📖 エッセイのオススメ

- ⇒ さくら ももこ 『もものかんづめ』 『あのころ』 他多数 注：とにかく読みやすく面白いです。
- 東野 圭吾 『あの頃 ぼくらは アホでした』 注：作者の子ども時代、小学生から大学までの出来事を綴っています。昭和の古き良き時代、今とは比べられないほど大らかな時代だったんだなあ~と思います。とにかく笑えます！

先生のオススメ

遠藤 崇 先生

◀ 深夜特急 ▶ 著者： 沢木 耕太郎

インドのデリーからイギリスのロンドンまで、乗合いバスで行く。ある日そう思い立ったく私>は、仕事をすべて投げ出して旅に出た。途中立ち寄った香港では、街の熱気に酔い痴れて、思わぬ長居をしてしまう。1年以上にわたる遠路ロンドンへ向かう放浪の旅。

✧生徒へひと言✧

人はなぜ読書をするのか？

「それは人生が一度しかないためである。」と誰かがどこかで言っていたが、自分の考えも何となくそれに近い気がするので、今後、そんな質問をされたときは、そう答えようと思う。

今、自分は日々の充実に対して、仕事をどかんと休むことも出来ないし、ふらっと遠出をすることも叶わない。もっとずっと若いころに色んなところに行って、色んな旨いものを食べて……なんてことをしておけば良かったなあと悔やむことが多い。

『深夜特急』は、そんな「今では叶わない思い」を解消したいとき、決まって手に取る。と見せかけて、実はずっと本棚にある。読むと耐えられないほど切なくなるから。

私が『深夜特急』全6巻を一週間とちょっとで読破したのは、23歳のころ。そのころには、自分はもう就職して、やはり自由な時間は少なかった。だから、高校生であるみんなにこそぜひ読んでほしいと思う。



～図書アンケートの集計結果から～



下のグラフを見ると、3年生が断トツで本を読んでいる人が多いようです。ところが、「読まない」と答えた人のパーセンテージを見ると、他の学年よりも多いです。「読む人」の冊数が多いので、下のような結果になっているようです。

「読まない」と答えた人の中に、「どんな本を読んでもいいかわからない」という答えが少なからずありましたので、前のページに“オススメ”（読みやすい・面白い）を載せてみました。ぜひ、感受性の豊かな高校生の皆さんに読書の楽しさを知ってほしいと思います。

また、図書のリクエストは随時受け付けています。司書の中野先生まで申し出てください。まずは学校図書館へ足を向けてみませんか？

